

甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」の事業について

○市民活動団体支援事業

市民と行政が互いに情報を共有し、協働による地域課題の解決に取り組むため、甲賀市内を拠点に活動している市民活動団体を対象に、複雑・多様化する地域課題に対応できる団体・人材の育成を行うことを目的とする市民活動団体支援事業の一環として開催。

令和3年度

第1回 コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスについて

講師：NPO 法人テダス

内容：NPO と NPO 法人の違い、営利組織と非営利組織の違いについての解説後、非営利組織が果たす役割について説明、事例（行政からの委託、参加費による事業、寄付による事業など）を交えて実施する事業の解説も行う。

参加人数：14名

第2回 市民活動団体課題整理ワークショップ

ファシリテーター：NPO 法人サービスグラント

内容：団体が新たな担い手とつながりを創出し、より大きな力を発揮できるようにするため、課題を整理し担い手に対するニーズを具体化および言語化した。

参加：市民活動団体6団体

第3回 地域における ICT 活用について

講師：NPO 法人きんきうえぶ

内容：「ICT のチカラをどう使う？」と題し、身近な地域でオンラインを使い、新たなつながりを生んでいる事例を紹介。また、ソーシャルメディアの特徴や利用率について、トラブル事例などを交えて、これからの地域活動に必要なポイントを説明。

参加人数：12名

第4回 プロボノについて

講師：NPO 法人サービスグラント

内容：「地元で活かす、あなたのスキル 人生100年時代の社会参加のことはじめ」と題し、人生100年時代におけるライフステージ観の変化から、自身のスキルや経験を活かしたボランティア活動が持つ意味について説明。後半では、まる一むプロボノプロジェクトについて説明

参加人数：13名

委託業者：NPO 法人サービスグラント

令和4年度

第1回 コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス基礎編

講師：NPO 法人テダス

内容：NPO と NPO 法人の違い、営利組織と非営利組織の違いについての解説後、非営利組織が果たす役割について説明、事例（行政からの委託、参加費による事業、寄付による事業など）を交えて実施する事業の解説も行う。

参加人数：13名

第2回 コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス実践編

ファシリテーター：NPO 法人サービスグラント

ゲスト：NPO 法人フェリスモンテ・一般社団法人ままちっち

内容：ゲストの活動の事例紹介後、参加者より団体への質疑応答を行う。その後、グループを作り感想をテーブル内および全員で共有した。

参加人数：13名

第3・4回 課題整理ワークショップ①②

ファシリテーター：NPO 法人サービスグラント

内容：団体が新たな担い手とつながりを創出し、より大きな力を発揮できるようにするため、課題を整理し担い手に対するニーズを具体化および言語化する。

対象：市民活動団体

委託業者：NPO 法人サービスグラント

○人材育成事業

・プロボノ

社会参加プラットフォーム内に「まる一むプロボノプロジェクト」を掲載

子ども食堂を運営する団体が登録し課題を募集、市外のプロボノワーカーとつながる。
課題) 子ども食堂におけるレシピの考案

・ファシリテーション講座

講師：西川実佐子氏（特定非営利活動法人しが NPO センター理事および事務局長・
ホワイトボード・ミーティング®認定講師（マスター）

内容：ファシリテーションとは、場の雰囲気づくりについて、ファシリテーターの役割について、話合いの進め方、意見の引き出し方および対人関係スキル等について

感想・意見：・書き出すことが大事。相手の話を具体的に聞くことを心掛けたい。
・オープンクエスションを意識して活用していきたい。
・自分の聞きたいことをきくのではないと気づかされました。

参加人数：10名

・活動相談サロン拡大版「あぶないときどうする？自分を守るカードゲーム」

進行：活動サロンの参加者（MSGC(水口東 SuperGlobalClub)・水口東高校2年生有志・甲賀市地域おこし協力隊)

内容：国際問題や多文化共生を研究するMSGCの生徒が外国籍の市民が災害時の日本語情報を理解することが難しいと知り発案した「防災かるた」をゲームの説明を行い実践。実践後は内容を詳しく説明し、防災時に必要な情報や心構えを伝えた。最後は、参加者で簡易スリッパを新聞紙で作成。

感想・意見：「防災かるた」が地域で普及し、交流するきっかけになってほしい。

・初めて「かるた」をして楽しかった。おもしろかった。

・カードの内容を説明してくれてありがたかった。

参加人数：25名

・活動相談サロン拡大版「資金調達について」

講師：遠藤恵子氏（特定非営利活動法人しがNPOセンター理事・特定非営利活動法人まちづくりスポット大津理事）

内容：団体を支える財源や資金の自由度と継続性の関係、秋に多く募集される助成金について獲得するメリットと注意について解説。

感想・意見：活動していくのに常にかかる資金の調達について悩んでいる。

・法人格は取らないと助成金がもらえないと思っていた。

・人件費が捻出できるように活動していきたい。また、それを本業にできるようにしていきたい。

・自分で食育や親子の居場所事業をしていきたいので今日は来た。

・活動の幅を広げていくためにメンバーと考えていきたい。

・活動を始めるために資金調達は重要だと思ったが、まずはやりたいことを整理していきたいと思った。

・まる一むが支援してくれる場所とは知らなかった。

参加人数：11名

・ポスター&チラシ作成講座「心に刺さるポスターチラシのこしらえかた」

講師：亀谷政晃氏（甲賀市役所 総合政策部 移住定住プロモーション専門官）

内容：心に刺さるをテーマに、情報が溢れすぎた時代に受け取る側の立場に立って「いかに情報内容に立ち止まり振り返ってもらうことができるか」を考えながら作成する必要性について説明。身近にある広告を事例として紹介と解説を行った。講義後は、参加者が任意でポスターおよびチラシを作成し、まる一むへ掲示を実施。

感想・意見：情報量減らす。受け側の立場で考える。余白多め。チラシは95%ス

ルーされる。アタマに入れます。

- ・今まで自分が作ってきたポスター等は紙一杯にビッシリとし過ぎていたなと思った。
- ・シンプルに目を引きやすいポスター作りにも挑戦してみようと思った。
- ・ポスター構成の認識が違った。
- ・講座の中で紹介された canva を使ってみたいと思う。
- ・一方的な講座でなく、ワークショップ的な双方向のやりとりのある講座にしてほしい。

参加人数：11名

○まちづくりカレッジの開催

誰もが「センセイ」（伝えるひと）誰もが「セイト」（受講者）になることにより、気軽に参加することができ、市民活動の最初の関わり（であい）を提供する。また、多種多様な講座を開催すること、同じ講座に参加することにより参加者同士のつながり（つながる）を生むために開催。

令和3年度

コロナ禍での開催として「まる一む登録団体」の紹介動画を撮影し、まる一むで編集したものを施設内で放映。登録団体が「センセイ」、動画を見た人が「セイト」となる。

撮影期間：10月24日～31日

館内放映：12月～3月末まで

令和4年度

センセイ	SATOYAMA+	中本珠江さん	大原悠貴子さん	甲賀忍術研究会	不登校の親の会 Moon
講座名	まちのコインでつながる お金で買えない地域づくり	ライフプランを作って 家計を考えよう	自分を最高に輝かせる おしゃれ講座	みんな 甲賀忍者になろう！	不登校って なあに？
センセイ	大河原佳子さん	876 show			
講座名	多文化共生って？	寄席に行こう！ハナシのタネ			

開催日時：令和5年1月14日

○相談業務について（令和4年度 相談案件数：28件）

※別紙一覧資料参照

○活動相談サロンについて

まちづくり推進員が中心となり今までの相談や経験からテーマを掲げ開催
テーマは「高齢者、障がい福祉」「若者」「活動資金の確保」「不登校」

「まちづくりカレッジについて」各事業や市民主体の活動につながるように気軽な会として開催

○地域への聞き取り活動

市内の地域市民センターを訪問し、地域マネージャーの活動や地域の困りごとなどの聞き取りを行う。

○小規模多機能自治に関する学習会の手配

IIHOE 主催の小規模多機能自治に関する勉強会への手配を行い、地域マネージャーに受講いただいた

そのほか

○登録団体制度：50団体（令和4年12月末時点）

○登録団体紹介カードの作成

活動参加者の募集や団体活動の見える化を行うため、活動紹介カードを作成。

○まる一むフードドライブプロジェクト

まる一むを通じて、食品ロスの削減・フードバンクへの理解や協力を来館者へ呼びかけるためフードドライブを月に1回実施。集まった食品はeこころステーション（社会福祉協議会）へ提供。施設利用者や活動室を利用している方が食品の提供者となっている。

○市民活動団体のボランティア募集、メンバー募集の呼びかけ

○甲賀市内外のイベント、セミナー情報および助成金情報の掲示

○各種団体のチラシの配架やまちづくり関連図書の設置